

良くしたい！
地域
環境
暮らし



日本共産党岡山市議会議員

菅原おさむ **通信**

こころ

Vol.003

2019年10月27日

岡山市北区小山 109-1

電話 086-287-5371

生活交通

地域を置き去りにするな

菅原おさむ議員は、9月議会でも生活交通を取り上げました。

市は、生活交通を導入するためには、地元が検討・運営組織を立ち上げることが必要としています。しかし地元組織をつくらなければ実現できないということでは、自力でできない地域は置き去りにされます。

菅原議員は、地域で暮らし続けるために必要な交通手段の確保は、市が責任を持つべきと訴えました。

また、効率や利便性の観点から、タクシーチケットの配布というやり方も検討すべきと提案しました。

あきらめないで声あげる

消費税は格差と貧困を拡大

菅原おさむ議員は9月議会で、住民のみなさんの声を受けて、消費税増税、生活交通、足守メガソーラーの3テーマで個人質問に立ちました。

消費税増税は市民生活に大きな負担をもたらします。生活保護163万世帯の半数が単身高齢者世帯です。ひとり親家庭の半数が貧困レベルにあり、5割前後が生活保護基準

準未満の所得で暮らしています。

中小企業は、10%の増税による深刻な景気悪化への不安と、複数税率による事務負担で大混乱です。事業継続を断



消費税増税中止を訴える菅原おさむ議員(9/5)

念して廃業する事業者が大量発生するのではないかと危惧されます。消費税増税は格差と貧困の

一層の拡大につながります。あきらめないで声を上げ続けることが大切と議会で取り上げました。

足守メガソーラー

市は住民の立場に立って

4月に施行された市環境評価条例について、地元要望で9月に行われた説明会では、参加された方々から疑問や心配の声が出されました。

菅原議員は、議会質問でみなさんの声を取り上げ、条例の手順の中で業者に環境保全措置を守らせる強制力はあるかと質問。市は、強制力は無いが、勧告すると答えました。

足守地区は市の「ホテルの里」事業の第1号認定を受けています。市も、住民が一生懸命取り組んでいることを重視しており、可能な限り影響を回避する措置を講じるよう業者に求めていく考えを示しました。

菅原議員は、住民の立場に立って行政を進めていくことを市に強く求めました。



ご相談をお寄せ下さい。

メール osamu_mys4@yahoo.co.jp

携帯電話 090-1337-5981

議会控室 086-803-1707